

第 3395 図



第 3396 図



第 3397 図



くもいこざくら

*Primula kitadakensis* Hara

関東山脈南部・赤石山脈の岩場に産する多年生の小草本。葉は長い柄をもち、柄には立った長い白軟毛が密生し、ほぼ円形で深い心脚をなし、径1.5-4cm、コイワザクラより深く掌状に7-9裂し、裂片には少数の粗鋸歯があり、上面は初め白軟毛があるが後ほとんど無毛になり、下面には特に脈上に毛が多い。春、新葉と共に花茎を出し、高さ5-10cm、下部には立った軟毛があり、先に1-3花をつける。花は紫紅色で径2m内外、萼は長さ5-7mmで半ばまで5裂し無毛、花冠筒部は萼より長く、花冠裂片は約1/3まで2裂する。雌雄蕊の長さは株により異なる。蒴果は萼より少し長い。和名雲居小桜は高地に産する小形の桜草の意。

ちゅうかさくら

一名かんざくら、はなざくら

*Primula sinensis* Lindl.

支那原産の多年生草本で観賞用として主に温室で栽培される。全体に立った軟い白毛が密生している。葉は長い太い柄を有し、円味のある心臟形で、まわりに掌状の11-15の円味のある切れ込みと不規則な鋸歯があり、長さ6-10cm。冬から早春に株の中央から太い花茎を出し高さ10-30cm、美しい花を繖状に2-3段つける。苞は葉質で深い尖った鋸歯があり、花梗は長く、花はやや大形で径2-4cm、濃紅色、淡紅色、白色などあり、中心は黄色である。萼はふくらみ径1cm余、広い鐘状で底部は平たく、花がすむと更に大きくなる。花冠は5裂し、裂片は巾広く、上縁が切れ縮れた品種が普通で、筒部はほそく中部に5本の雄蕊がついている。和名中華桜は支那(中華民国)に自生する桜草の意味である。

さくらそらもどき

*Cortusa Matthioli* L.

var. *pekinensis* Al. Richter

東亜に点在し、北海道の山地に稀に産する多年生草本で、葉柄や花茎には軟毛が多い。葉は根生で長い柄があり、ほぼ円く径4-8cm、基は深い心臟形をなし、掌状に約1/2位まで7-11裂して、裂片には不揃いなあらい鋸歯がある。6-7月、高さ10-20cmの花茎をだし、頂に3-8個の紫紅色の花を繖状につける。苞は先に裂け、花梗は長さが不同で長さ1.5-4cm、萼は漏斗状で長さ5-6mm、5中裂し、裂片は披針形でとがる。花冠は漏斗状で径1-1.5cm筒部は短かく、裂片は狭卵形で斜めに開き先はやや尖る。雄蕊は5個あり、花冠の基部につき、雌蕊は1個。全形はオオサクラソウによく似ているが、花冠の形が異なり、雄蕊は花冠の基につくので別属とされている。和名もサクラソウ類に似ていて違うという意。

べにさらさどらだん

*Enkianthus campanulatus* Nichols.

var. *Palibinii* Bean

(= *E. campanulatus*

var. *rubicundus* Makino)

本州中部の深山に産する落葉灌木で高さ2mに及ぶ。葉は互生し枝の先に集ってつき、倒卵形で両端尖り、縁に細かい鋸歯があり、長さ2-4cm、下面中肋にそい褐毛が生えている。6-7月、総状花序を下垂し、軸に褐色の軟毛がある。小梗は長さ1-1.5cm、萼片は披針形で長さ約3mm。花冠は鐘形で下へ向って開き、長さ6-8mm、先は5裂し、紅色で濃紅色の縦条がある。雄蕊は10本、花糸に毛があり、蒴には2本の長い角状突起がある。蒴果は上へ向って熟す。サラサドウダンに比べ、花冠はやや小さく細く、花色が濃い。和名は紅更紗ドウダンの意味である。

せいしか

*Rhododendron leiopodum* Hayata

(= *R. ellipticum* Maxim.)

琉球に自生し、稀に栽植される常緑小喬木である。高さは4m以上になり、枝は淡褐色で初めから毛がない。葉は互生し枝先に集ってつき、長楕円形で両端細まり、長さ5-12cm、巾1.5-4.5cm、厚く平滑で少し光沢があり、脈は上面で凹み、下面も緑色である。4-5月、枝先に1-2花をつける。花梗は長さ約2cm、萼は盃形でごく浅く5裂する。花は大きく径6cm許、淡紫紅色で上側に斑点がある。雄蕊は10本、雌蕊は1個で子房にも毛がない。蒴果は細長く長さ約3cm、無毛である。

とよきりしま

一名やえぎりしま

*Rhododendron obtusum* Planch.

f. *calyciflorum* Schneid.

キリシマの園芸的一型で、観賞用として庭園に栽植される常緑灌木である。秋葉は倒卵形又は長楕円形で先は円く、越冬し、長さ1.5-2.5cm、春葉は少し長味があり先はやや尖り、共に伏した細毛がある。4-5月、枝端に径3cm許の2-3花を開く。萼は花弁状になって花冠とほとんど同大形で濃紅色をし、花冠が二重にかさなった様に見える。雌雄蕊は正常で、雄蕊は5本、花糸は紅色、蒴は褐紫色、花柱も紅色である。この外キリシマの園芸品には色々の形があり、花の紅紫色のものにも、萼が花冠状に大きくなった一品があり、又萼がやや大きく花弁状になるか花冠よりは小さく不規則に裂ける形もある。

第 3398 図



第 3399 図



第 3400 図



つつじ科

つつじ科

つつじ科